『現代行動科学会誌』論文執筆要領　　　　　 　　2015/11/07

・次の要領をご参考にしていただき、ご執筆を願いいたします。

・『現代行動科学会誌』掲載論文は、リポジトリ化をすすめています。そこで、

掲載論文につきましては、著作権を現代行動学会(編集委員会)に委譲いただけますようお願いいたします。

1. 原稿は横書きで、ワードで作成

Ａ４縦紙使用　余白　左30mm、右30mm、上25mm、下25mm

　　原稿頁枚数は、刷り上がりで、10頁（15700字）

2. 原稿の構成は、題目、氏名(所属)　、本文、注、文献の順とする

1頁目　40字×34行(本文)

１行目　柱等について　【論文】・・14pt　**左寄せ**

２行目　論文等題目　MSゴシック　14pt　　**中央**

※副題がある場合は行を順に送る

３行目　名前（所属）　MS明朝　10.5pt　　**右寄せ**

４行目　行をあける

５行目～本文　MS明朝　10.5pt

2頁目以降～　40字×40行

3. 本文、注ともに和文は全角文字、欧文は原則として半角文字とする

4. 図および表は本文に挿入して提出する

　　原稿種類別の原稿頁枚数は、刷り上がりで以下とする。

**論文　10頁　(図表、注も含む)**

(1) 図および表のタイトル等の位置は以下のようにする。

(a) 図の場合　　 図本体の下に、図の注、出典、その下に図タイトル

(b) 表の場合　　 表タイトルの下に表本体、表の注、出典

(2) 図および表の番号は、図１、表１というように、それぞれ通し番号とする

(3) 図および表の出典は、版権等の関係から、オリジナルな場合を除き必ず明記する

(4) 必要に応じて、図および表の原著者または著作権所有者から使用許可を得ておく

5. 注は、本文中の該当箇所に、1) 2) のように番号を付し、本文末尾に番号順に記す

6. 文献の記載は、以下の要領で行う（次ページの「文献」リスト例を参照のこと）。

【例】文献

池岡義孝、1997「現代中国都市住民の家族認識の構造」『家族研究年報』22、48-69

国立社会保障・人口問題研究所、2006「第13 回出生動向基本調査 結婚と出産に関する全国調査夫婦調査について―結果の概要」国立社会保障・人口問題研究所ホームページ（2011 年3 月10 日取得、<http://www.ipss.go.jp/ps-doukou/j/doukou13/point13.asp>）

宮本みち子・岩上真珠・山田昌弘、1997『未婚化社会の親子関係―お金と愛情にみる家族のゆくえ』有斐閣

宮坂靖子編、2004『アジア諸国におけるジェンダーの比較研究―日本・韓国・中国・タイ・シンガポールを対象に』2001-2003 年度科学研究費補助金研究成果報告書、奈良女子大学

新潟日報、1989a「百霊廟の精神脈々と」1989. 8. 13

――、1989b「クローズアップされる『百霊廟』の阿弥陀仏」1989. 12. 2

Raymo, James M., and Iwasawa, Miho, 2005 “Marriage Market Mismatches in Japan: An Alternative View of the Relationship between Women’s Education and Marriage”, *American Sociological Review*, 70 (5), 801-822

Shorter, Edward, 1975 *The Making of the Modern Family*, Basic Books（＝田中俊宏・岩橋誠一・見崎恵子・作道潤訳、1987『近代家族の形成』昭和堂）

渡辺秀樹、1999「戦後日本の親子関係―養育期の親子関係の質の変化」目黒依子・渡辺秀樹編『講座社会学2家族』東京大学出版会、89-117

Wellman, Barry, and Gulia, Milena, 1999 “The Network Basis of Social Support: A Network Is More than the Sum of Its Ties”, Wellman, Barry ed., *Networks in the Global Village: Life in Contemporary Communities*, Westview Press, 83-118\_\_